



2018年9月日号 No.50

発行所

NPO法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

[URL] <http://oinanyo.net/>

やっと涼しさを味わっています

「今年の夏の暑さは厳しかった」、と過去形にしたいのですが、まだまだぶり返しがりですが。

現場では汗を流しながら利用者様の体調を気遣い飛び回る職員がいます。そんな職員に感謝と誇りを感じています。狭かった「三日市場」の縁側を拓げました。春に引っ越した「宅老所おおせぎ別家」では大家さんやご近所さんの見守りの中、ご心配を頂きながらも、バタバタと元気に毎日が過ぎていきます。「さくらまち」では、16年間使った風呂の改修が8月に終わり、小さなお風呂ですが洗い場が広くなり気持ちよいお風呂になりました。また、自然災害が起こっている中、西日本豪雨災害では職員から募金を集め送金することが出来ました。

年3回あるBケアさんの指導で「最近は深呼吸する機会が減った」との事。早速、朝礼で有酸素運動を取り入れることに努力しています。自然は実りの秋を迎える準備が出来始めています。四季を楽しみ、生きる事を皆さんと共に歩んで行きたいと再確認した次第です。



理事長 佐藤 敏子

大学生の訪問 8/29 ≪空家対策の研究ゼミ≫

立命館大学3年生4名が「中山間地の空家対策平岡ゼミ」で来飯。

当法人の空家を使つての事業展開を見学。それぞれの研究テーマがあり「中山間地の悩み」「空家対策は環境に優しい取組」「空家対策は地域資源だから空家に興味があった」「空家対策の防災は？」と愛らしくも頼もしい学生さん。明日の日本をお願いします



再度来飯 かいご家さんの研修? 8/28

共生ケア実践の松本徳弥さん。5月の総会では、消化できなかったお話を再び今回来て頂き、「徳弥の世界」を奏でてもらいました。

話を聞く度、かいご家さんは箕輪村の宝だと再確認しました

いつか「おいなんよ」も共生ケアが

できることを祈念しよう。ソダネ



さくらまちのお風呂改修 →

なななんと洗濯機が家の中。「嬉しい」と歓声。無理ありません。今まで洗濯機が外で…。寒い日も嵐の日も雨の日も頑張りました。広くなった洗い場は、マヒが有ったって何のその。車椅子が入るんだから。



さくらまち交流会 8/19



今年は、昼食を挟んでの交流会を試みました。職員、ボランティアさん、運営推進委員の皆さんはご利用者さんの横に座って戴き、交流しやすく考えました。如何だったでしょう



一年間の「さくらまち」の様子をビデオで流し沢山の行事が取り込まれていたことに皆さんから賞賛を戴きました。

佐野さんの体操があり、大家さんの独唱があり楽しいひと時を過ごしました。来年もお元気でお会いしましょ〜。



サテライト三日市場 交流会 7/28

昨年より少し広くなった三日市場。今年は初めての試みで昼食が交流会となりました。あゆみ園の「感謝の折づめ」を戴きました手話でふるさと、茶摘み等歌い和やかな風が流れました。極めつけは、職員の子供たちの歌、ご利用者さんも私達も満願の笑み。司会者の二人は、自己紹介を忘れてしまいました。



BCP 研修 「事業継続計画」7/27 →

東京海上の池田深保さんが講師です。彼女の優しい声と言葉が私たちを癒してくれました。管理者と生活相談員が集まった研修。自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合、最小限に災害を納め尚かつ連絡網が敏速に行えることが事業継続に繋がるとの事でした。方法と手段などの計画について例題を聞き、次回は各事業所の連絡網と備品一覧表を検討することになりました。



編集後記

今年は九州の地震、西日本の台風、北海道の地震。異常気象と言われながら日本列島は傷だらけ。他人事では無い自然災害。伊那谷災害とも言われた「三六災害」では天竜川、小渋川、三峰川と氾濫で未曾有の死者と被害があった。川の氾濫は地形を変えるような勢い。天竜川では、豚や馬、牛が流れ川の恐怖を観た。あれから半世紀、被害場所は公園になり天竜川に架かる橋は立派になった。比例するかのように日本は高度成長時代に突入。大都市への一極集中が始まった。半世紀前、日本中に空家対策が出来る事を誰が想像しただろうか。(い)